

宮私幼だより

No. 127
社団法人 宮城県私立幼稚園連合会
〒980-0803
仙台市青葉区国分町三丁目6-12
佐正第二ビル 6F
TEL 022-263-7040 FAX 263-7925
<http://www.miyashiyo.or.jp/>
編集・発行人
理事長 村 山 十 五



事務局だより

○関係機関団体

5月8日 幼稚園等新規採用教員研修会（県と共催・県庁講堂）

5月30日 私立幼稚園振興対策協議会総会（東京エレクトロンホール宮城）

6月5日 宮私幼PTA連總會（東京エレクトロンホール宮城）

○全日私幼連

4月6日 全日私幼連臨時理事会（東京）

4月23日 全日私幼連常任理事会（東京）

5月8日 全日私幼連理事会（東京）

5月27日 全日私幼連理事会（東京）

5月28日 全日私幼連定時総会（東京）

6月27日 東北地区会第16回私立幼稚園設置者・園長研修会（岩手大会）（盛岡）

6月28日 第1回全日私幼連東北地区会（盛岡）
7月9日 第14回東北地区私立幼稚園教育振興協議会（青森市）

○宮私幼のあゆみ

4月16日 研究委員会

4月24日 総務・給付委員会

5月15日 総務給付委員会・常任理事会合同会議

（1頁の続き）

巻 頭 言



宮私幼理事長 村 山 十 五

去る5月30日の定時総会において、理事長に再任され、新たなスタートをいたしました。問題山積、前途多難な会務運営が予想されますが、会員の皆様方のご理解とご協力を頂き、子どもたちのよりよい環境づくりと私学振興に努めてまいりたいと考えております。

今期は、さらに、全日私幼の副会長も兼務することになり、幼稚園を留守にすることが多くなりますが、携帯電話のおかげで、常に連絡が取れる常態にありますのでご安心ください。

さて、6月14日に発生した、岩手・宮城内陸地震では、栗原市を中心に大きな被害がありました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。県内の私立幼稚園でも3幼稚園から壁の亀裂等の被害報告がありました。土曜日の朝ということもあり、園児のケガが心配されましたが、無事に避難したとの報告を受けております。実は、昨年この時期に、新潟県中越沖地震が発生しており、その時も、各園に危機管理をお願いしたところがありますが、再度、地震発生時の対応について、園児、職員、保護者の方々に周知徹底をお願い申し上げます。

各園とも、夏休みを間近にし、職員の研修計画や日直、預かり保育の当番等、以前とは少し違った夏休みの計画を立てている園長先生も多いことと存じます。預かり保育に毎日登園してくる子どもにとって、夏休みはどう理解しているのでしょうか。夏休みの本来の意味を親も教師も社会も再確認することが必要な時代なのかもしれません。

さて、職員の夏休みは研修会が盛りだくさんで、休む暇もないとの苦情が聞こえてきそうです。来年4月から実施される幼稚園教育要領の改訂、幼稚園の自己評価の実施方法、実技講習等々、様々な研修が計画されています。時間の許す範囲で、

職員の参加をお願い申し上げます。7月に販売されました研修ハンドブックをご持参ください。

国は、幼児教育の重要性を認識し、「骨太2008」に幼児教育の無償化を掲げました。ただし、税制改正との連動ですので、今日明日に結果が出るものでもありません。義務教育につながるのではないかと心配する向きもありますが、そのような方向での議論は現在のところされておらず、むしろ、基本的生活習慣の確立や少子化対策の一環としての政策提言といえます。当面は、保護者への就園奨励費補助金の増額を図ることを具体的な施策として掲げております。さらに、関係省庁では、幼保の一元化についての情報収集を進めつつあります。全日私幼としても、プロジェクトチームを立ち上げて、検討に入ります。20年、30年前からの課題でもありますので、解決までには多くの時間がかかりそうです。今年の12月から施行されます公益法人改革についても、全日私幼ではプロジェクトチームを立ち上げております。各県の退職給付事業にも大きな影響を及ぼす制度改革ですので今年度中に結論を得たいと考えております。そのほか、教員の免許更新講習についても会員から心配の声が届いております。20年9月末頃には、詳しい手引き書を発行する予定になっておりますので、しばらくお待ちください。なお、10月に行われる東北地区鶴岡研修大会の一部分科会が6時間の更新講習に該当になります。(詳しくは別報で)

最後になりますが、インターネットの普及で情報が瞬時に届くようになりました。幼児教育や幼稚園経営に関する、より確かな情報提供を心がけたいと思います。保育所に負けない、幼児教育と子育て支援ができるよう、皆さんでがんばりましょう。抱負の一端を申し上げ、再任の挨拶とさせていただきます。

以上
7月15日まで

○慶弔

5月22日

星野艶子氏(新坂通幼稚園設置者・園長)ご逝去

7月14日

総務・給付委員会

7月1日

平成20年度宮私幼教育振興大会・第37回宮私幼PTA研修大会

6月19日

常任理事会

6月18日

回地区研修担当者連絡会議

6月11日

総務・給付委員会

会

ル宮城)・広報委員

5月30日

第1回総会(東京)

5月21日

研究委員会

5月19日

理事会

5月16日

推薦委員会・決算

最近の幼児教育を巡る 動向について

宮城県総務部私学文書課長 青 木 直 之



宮城県私立幼稚園連合会の皆様方には、日ごろ、幼児教育の振興に対して、格別の御協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、現在、県では「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」を県政運営の基本理念として掲げ、県民一人ひとりが幸福を実感し、安心して暮らせる宮城づくりを進めております。「富県宮城」を実現するためには、県内の各産業の今後の成長を図ることが必要であり、技術力や生産技術の向上等を支える人材の育成・確保が最も重要であると考えております。そのために、学校教育等と連動した人材育成体系の構築を進めることとしております。

こうした人材の育成を進めるに当たって、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期の教育は、極めて重要であると考えております。義務教育修了までの教育は、個人として、国民として生きる上で基本となる力を培うものであり、幼児期の段階から取り組むことにより、豊かな人間性を備えた人間の育成につながるものと期待されます。

県としては、宮城の未来を担う人材の育成が極めて重要であると考えており、幼児教育を県政における最重要課題の一つとして位置付け、幼稚園をはじめとする学校教育の充実に力を注いでいきたいと考えております。そのため、平成20年度当初予算においては、県財政が大変厳しく、一般会計の規模が対前年度比1.8パーセントの減となる中で、幼稚園への補助単価については、2.3パーセントの増加を確保しております。

国においても、こうした幼児教育の重要性を考慮し、平成21年度からは、新しい教育要領に基づき、幼稚園における教育のより一層の充実を図ることとしております。具体的には、幼稚園を義務教育及びその後の教育の基礎を培うものと位置付け、生きる力の基礎を育成するもの

とされました。幼稚園については、幼児の生活全体が豊かなものとなるよう、家庭や地域における幼児期の教育の支援に努めることとされております。

また、7月1日には、政府において「教育振興基本計画」が閣議決定されました。これは、教育に関する初の基本計画で、「教育立国」を宣言し、今後10年を通じて教育が目指すべき姿を提示しております。この振興計画の中では、教育の原点は家庭であり、保護者は豊かな情操や基本的な生活習慣、家族を大切にす気持ちや他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観社会的なマナー、自制心や自立心を養う上で重要な役割を果たすものとされております。こうした家庭教育の自主性を尊重しながら、家庭における教育の充実を図るためには、子育てに対する幼稚園等による支援が重要な役割を果たすものとされております。具体的には、幼稚園が有する人的・物的資源を活用した施設の開放、保護者同士の交流、情報の提供、子育てに関する相談・助言等の支援が期待されております。

宮城県においては、全幼稚園児の8割以上に当たる2万8千人以上の幼児が私立幼稚園で教育を受けております。県としては、建学の精神に基づく多様な人材育成や特色ある教育を行い、本県の幼児教育の質・量両面にわたる発展に重要な役割を果たしておられる私立幼稚園の重要性を考慮し、今後とも、幼児教育に対する助成の充実に可能な限り努めていきたいと考えております。

結びに、幼稚園の先生方におかれては、今後とも地域の中核的な幼児教育機関として、また、子育て支援機関として、より一層御尽力いただきますようお願いいたします。

スポットニュース

通園バスの後部座席のシートベルト着用義務化と有償運行の届けについて

1. 通園バスの後部座席のシートベルト着用義務化と高速道路での違反について

道路交通法第71条の3第3項により、シートベルト（チャイルドシート）の着用が義務づけられていますが、通園バスは、同第3項のただし書きにより、免除されているところです（スクールバスだからではなく、5歳児以下の幼児が免除対象）。

また、この度（平成20年6月）の改正により、高速道路での着用義務違反に行政処分が科されることになりましたが、園児が遠足等で高速道路を利用する場合でもシートベルト（チャイルドシート）の着用は免

除になります。しかし、当然の事ながら、自家用車は免除の対象にはなりません。

2. 通園バスの有償運行の届けについて

平成20年3月、兵庫県内の私立幼稚園が運輸局の許可を得ずに、通園バスを運行したとして、罰金10万円の略式命令を受けました。全日私幼連では、平成9年6月に私幼時報で有償運行について掲載し、都道府県団体または各園で許可申請を行った経緯がありますが、その後、許可証を紛失した（各都道府県団体または各園に写しが保管されていると思われるので、要確認）、申請しないで運行している幼稚園もあると思われますので、再度、お知らせいたします。



Close・up 理事会

平成20年度宮私幼理事会の概要

日 時 5月19日（月）午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 題

- (1) 平成20年度第1回通常総会の議案について
 - ① 第1号議案 平成19年度事業報告について
 - ② 第2号議案 平成19年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について
 - ③ 第3号議案 役員改選について
- (2) 利府葉山保育園の給付事業への加入について
- (3) 教員研修ハンドブックについて

報告事項

- 平成20年度第1回通常総会の議長、議事録署名人及び司会について

<新理事紹介>

3代目は女の園長先生！

岩沼南こばと幼稚園 小山せつ子



今年2月に園長に就任いたしました。年齢に不足はありませんが、教職は20数年ぶりの復帰です。今は目の前のことに追われながら、心優しい先生方に支えられて、何とか一日一日を大

過なく過ごしております。

まずは、319名の園児の名前と顔が一致するように、時間の許す限り園児と接するようにしています。そして宝物がいっぱい入っている園児の箱から、原石をみつけて磨くのを楽しみにしています。また私自身がコンサートや演劇落語、スポーツ観戦、里山歩き等で、その臨場感からエネルギーをもらっているのも、園児にもできるだけ身体全体で受け止められる実体験をさせたいと思っています。

このたび、何故か理事をお引き受けしてしまいました。理事の方々は、ベテランの先生ばかりで、一回目の理事会は何が何だかわからないうちにどんどん拍子に進み、まるで「パリのアメリカ人」のような気分でした。どれだけお役に立てるかわかりませんが、精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

平成20年度 全日本私立幼稚園連合会東北地区会 第16回私立幼稚園設置者・園長研修会（岩手大会）

テーマ「新しい時代の幼稚園を目指して」

＜平成20年 6 月27日（金） 10:00～15:50 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング＞

緑濃く初夏のたたずまいを見せる自然豊かな岩手の地で、標記の大会が開催されました。東北6県から約150名の設置者・園長が一堂に会して、私立幼稚園を取り巻く様々な課題を大会テーマに沿って「教育」「振興」「経営」の3分野から研究・協議し、研修を深めました。



演題 「東北と平泉文化から学ぶ」
講師 宗教学者 山折哲雄先生
（国際日本文化センター名誉教授）

開会行事に続いて行われた記念講演は、世界遺産登録を巡って注目を集めている奥州平泉をテーマに『東北と平泉文化から学ぶ』と題して、宗教学者である山折哲雄先生が90分に亘ってお話しされました。

花巻市出身の山折氏は、歴史学者とは別な観点で、今まさに世界遺産に登録されるか否かで話題になっている平泉文化について三つの問題点を挙げて述べられた。一つは奥州藤原3代がみちのく平泉に理想郷を目指して平和・浄土思想の精神文化を根付かせた。そして、平泉では極楽浄土を現す金色堂に藤原三代の遺体を安置しており、同じ浄土思想でも遺体を汚れたものとして城外に遺棄する平安京の藤原一族と異としている。神聖な場所にミイラを安置することは、むしろ遠くチベットのポタラ宮殿に共通点が見いだせるし、エジプトまで遡る。二つめは義経と判官びいきが平泉の思想であり、源氏に始まる武士道と切腹作法は動物解体に詳しいマ

タギの狩猟民的な発想で東北地方が発祥の地ではないか。それに対して西国では稲作農耕文化を基盤とした平家びいきが多い。三つ目は西行法師と芭蕉のみちのく遊行は彼らと共に全国ネットワークを通して平泉文化が発信された。これら3つの視点は、平泉文化が東北の文化の基調をなしたことを示している。

同氏のお話しは、松尾芭蕉の俳句を通して隠密説の話しをされたりと、縦横無尽に広がる話しについつい吸い込まれるようでした。最後に、長生きをして浄土に行くためには、足腰を鍛えることが大切である、と場内の笑いを誘って講演を結ばれました。

昼食をはさんで午後からは、3分野に分かれての研究・協議が活発に行われました。

第1分科会 教育「自己点検と自己評価について」

秋田県の幼稚園から問題提起がありました。「健やかに子供の育ちを保障していくことが専門家としての幼稚園教諭に求められている。その資質向上のために、自己評価制度を自園に合わせて導入し、試行錯誤しながらも継続してきた。

自己評価は保育の振り返りにも共通するので、様々な角度から評価ができるように工夫してい



る。今後の課題は、外部評価の導入である。幼稚園として、どれだけ情報公開が必要となるか、この点がこれから求められてくるように思っている。」…パワーポイントを駆使しながら、副園長先生から丁寧に説明がなされた。

その話しを受けて全日私幼幼児教育研究機構副理事長の田中雅道先生が、「外部評価は、公立学校で行なわれるべきものであり、私立学校側には園児数というきびしい外部評価が以前からある。評価の方法は、自己評価、外部評価、第三者評価と分かれるが、第三者評価は今のところ想定はしていない。今後、改訂は行なわれるだろうが、自園の適切な評価方法は考えていかなければならない。」とまとめていただきました。

第2分科会 振興「市町村対策について」

問題提起者 川守田 道治先生

3町村合併により新「南部町」誕生し、幼稚園は町立が2園、私立1園、町立保育園3園、町立保育型児童館4園という状況にある。町立幼児施設と私立あかね幼稚園との保護者負担と経費や人件費で格差がある。各施設の定員充足率は、幼稚園が50パーセント以下に対して保育園は90～100パーセントであり、児童館は27パーセントに過ぎない。

これらの格差に対して首長、議員は認識が不足しているので、様々な働きかけをしたところ、町の運営費補助が50万円となった。

質疑応答の中で、南部町に隣接する八戸市から私立幼稚園への実情を知らないために5パーセント削減案が提出されたが、首長や議員に出来るだけ顔を出して理解を求めた結果、増額を勝ち取った実例が示された。また、理解不足のために、山形市のように同じ市会議員が幼稚園、保育所、無認可施設の各議員連盟に名を連ねて



いるのが実情である。また、秋田県では運営費補助が1園児2,000円×12ヶ月と格段の補助を受けている。岩手県滝沢村では、就園奨励費の基準が大幅に引き下げられそうになったとき、署名運動などを通して議会へ働きかけた結果、村立の保育所の経費に近づくように助成する方向にあることが報告された。

富永先生の助言とまとめ

従来、市町村と幼稚園の関係は、就園奨励費を除いて希薄だったが、実際には報告されたように市町村への働きかけによって助成金の格差が大きくなっている。つまり、日頃の市町村への働きかけが大事であることが指摘された。

※宮私幼の地区割りは、市町村をまたいでいる場合が多いが、直接自治体に働きかけるために市町村単位の下部組織も必要であろう。(編集子)



平成20年度宮城県私立幼稚園教育振興大会 第37回宮私幼PTA研修大会

大会テーマ「明日を担う子どものために」

～子育ては、親と地域と幼稚園～

(平成20年7月1日(火) 10:30～12:30 東京エレクトロンホール宮城)

今年度も東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）に於いて、溢れんばかりの保護者の皆さんと多数のご来賓をお招きし、盛会に行われました。

第1部 振興大会

振興大会では、鎌田文恵宮私幼副理事長の開会の言葉、村山十五宮私幼理事長、渥美巖宮私幼PTA会長の挨拶、地震対策本部設置中であることから、



作業着姿でお出いただいた村井嘉浩宮城県知事より、県といたしましては、建学の精神に基づく多様な人材適正や特色ある教育

を行い、本県の幼児教育の質・量、両面にわたる発展に重要な役割を果たしておられる私立幼稚園の重要性を考慮し、今後とも幼児教育に対する助成の充実に可能な限り努めてまいりたい、幼稚園の先生方におかれましては、今後とも地域の中核的な幼児教育機関として、また、子育て支援機関として、より一層ご尽力いただきますようお願い申し上げますとともに、保護者の皆様におかれましては、引き続き幼稚園教育へのご協力をお願い申し上げます、とご祝辞を頂戴しました。

また、高橋長偉宮城県議会議長から、近年、子どもたちを取巻く環境が急激に変化してきており、私立幼稚園の役割も大きくなっております。県議会では昨年9月議会において、私学助成の堅持、充実を図る意見書を全会一致で可決いたしており、



次代を担う子どもたちが、それぞれの可能性を活かし未来に向かって力強く羽ばたく事ができるように力を尽くしてまいります、とご祝辞を頂きました。

続いて、鎌田俊昭宮私幼常任理事と長谷川幸宮私幼PTA副会長の二人で大会宣言を宣誓し、県知事に宣言書をお渡ししました。

最後に、佐藤宏郎宮私幼副理事長の閉会の言葉で第1部振興大会を終了いたしました。

大会宣言

私たち、宮城県私立幼稚園連合会と同PTA連合会は、子どもたちのすこやかな成長・発達・安全のため、地域社会と連携し、家庭・幼稚園がそれぞれの役割を自覚し、また研修に励みそのつとめを果たします。

そのためには安心して子育てができる環境が必要であり、次のことを宣言します。

1. 私立幼稚園は、地域社会及び家庭と連携し、幼児一人ひとりの自立への歩みを進め、適切な環境での体験と、人とのかかわりの中で「生きる力」の基礎を育みます。

また、豊かな感性、他人を思いやる心、基本的生活習慣の形成などの「心の教育」に努めます。

2. より豊かで充実した幼児教育振興のためには、教育に専念できる経営上の安定が必要です。そのためには、私立幼稚園への公的助成、特に、幼児の就園に伴う保護者の経済的負担を軽減するために、運営費助成・就園奨励費の増額等、適用範囲の拡大を推進する必要があります。

これら、幼児教育に必要な予算が的確に措置されることを関係機関に強く求めることを宣言します。

平成20年7月1日

宮城県私立幼稚園教育振興大会

第2部 P T A 研修大会

「子育ては晴れたり、くもったり」

一何があっても あったがごはんー

講師：関口 玲子 先生

(ハート&ハート空間ビーアイ代表)

「自分の子どもをイメージして、手遊びをしてみませんか!」、そう話し始めた関口先生は、平成15年度の研修大会にもご講演して



いただきましたが、今回も身体全体を使いながら、沢山のお母さま方に手遊びや絵本を駆使してお話して頂きました。

私たちが幼稚園児ぐらいの子どもを育てるという事は、見えない心の畑に一生懸命種を蒔いて育てていること、大人になったら忘れるかもしれない心の畑の中にお母さんと一緒に過ごした、その大事な時間を体に記憶し、畑を大きくして大きな花を咲かせる為に私たちは今日ここに来ている。

そして、手遊び…、あれは何の為にやったのだろう、子どもとの時間を少し意味付けたり、問い直してみたりする時間になれば良い。ご飯を食べるのも、手遊びをするのも、すごく早い時間…、毎日そういうリズムでこなしていったら心の畑はどうなるでしょう…。

人生の時間をどのようなリズムで共に過ごしていくか、記憶に残らないとても大事な時間をどういうふうと一緒に種を蒔いて、育てていけばいいのか…。

「♪月〜♪月 小さい畑を良く耕して、小さい種を蒔きました、ぐんぐん伸びて春になって、小さい花が咲きました、パッ! 中ぐらいの畑を良く耕して、中ぐらいの種を蒔きました、ぐんぐん伸びて春になって、中ぐらいの花が咲きました、パッ! 大きい畑を良く耕して、大きな種を蒔きました、ぐんぐん伸びて春になって、大きい花が咲きました、バカッ!!」

手遊び…、「なんだって、めんどくさい!」って呟くと、子どもはそうする事が面倒臭いというふうに関心の畑に種を蒔いたことになる。

実は、私たち大人というものは、一つひとつの事をちゃんと意味付けて、それなりの思いで時間を使っていかなないと、形だけ、ファッションになってしまう。形骸化したアクションというもののぐらいい金の無駄遣い、時間の無駄遣いはないということです。

子どもたちは、自分で自分の心の畑に水をかけることが難しいが、お父さん、お母さん、爺ちゃん、婆ちゃん、幼稚園の先生、園長先生に、水がけやたまには日向に向けてもらうことができる。

心の水かけに一番良い事は一緒にホカホカご飯を食べるということで、カピカピご飯を毎日心の畑に食べさせていたら、どんな人間が育つと思いますか?

一緒に暮らす、一緒に居る、相手の顔と向き合う事を日常の中でやっていないと、心の畑には何も育たない。目には見えない種を植えて、水をやっても簡単には育たない、真剣に一生懸命に育てないと育たない。

昔なら爺ちゃん、婆ちゃん、近所の人たちもいて、何かあったらちゃんと水かけしてくれたんですが、今は地域が崩壊し、群れて遊んで社会のルールを学ぶ事が出来ない時代です。

幼稚園に送り出すのは、群れて遊び社会のルールを学ぶ種をもらって育てることができるという事なのです。



宮城県私立幼稚園連合会 平成20年度 第1回総会

平成20年 5 月20日 宮城県民会館 6 F 会議室
(参加者110名・委任状提出者51名)

初めに、永年にわたり私立幼稚園振興と発展に貢献された岩切東光幼稚園 吉岡律子先生、愛隣幼稚園 三井啓示先生、みやの森幼稚園 遠藤真弥先生に感謝状が贈られました。

挨拶（要旨）

〔宮私幼 村山十五理事長〕

平成19年度私立幼稚園運営費補助金は、県財政が厳しい中、前年比2.3%の増額となりました。退職手当資金給付事業にも、昨年同様補助金が交付されて順調に運営しており、永続させていきたいのでご理解とご協力をお願いいたします。

中央情勢については、教員免許更新が来年度より始まりますが、宮城県は宮私幼が講習の窓口となります。研修ハンドブックも発行されるので、購入してご活用ください。

また一昨日の会議で、全日本私立幼稚園連合会の副会長に選任されましたので、よろしくお願いいたします。

〔県私学文書課 青木直之課長〕

教育基本計画が、10年にわたって実施されます。学校と家庭、地域社会がそれぞれの役割を認識し、お互いに情報を提供し発達段階に対応しながら、基礎となる力を養うものです。

〔宮私幼PTA 渥美 巖会長〕

県内の私立幼稚園在籍園児は、昨年より515名減となりました。引き続き「①すべての子どもの為に、良い環境を作ろう。②良い親・良い教師となる為の研修を深めよう③保護者の負担軽減の為、さらに努力しよう。」の三つの目標を実現できるよう尽力いたします。



宮私幼 村山十五理事長



県私学文書課 青木直之課長

●パソコン活用ワンポイント・アドバイス●

*データ・バックアップのすすめ

最近のパソコンは昔に比べると夢のように性能が向上して、今や地デジ放送も観れる、撮れるようになりましたが、仕事でもプライベートでも沢山のデータが発生し、外部HDD等を接続して保存されているかと思えます。仕事で利用するデータも写真も動画も総てHDD（ハードディスク）にだけ保管していると、あくまでもHDDは機械ですから寿命や衝撃による故障が発生し、大事なデータが読み取れなくなる場合があります。

そこで、定期的にデータのバックアップを取って置く事がHDDが故障した際にとても役に立ちます。バックアップ方法には、いろいろありますが、肝心なのは、二度と作れないデータはDVD-R等の外部メディアに焼いて保管する事が一般的です。ただし、DVD-R等はプレスされたDVDと異なり、メディアの品質や保管状態により再生できなくなる事が実際に発生しています。紫外線や湿度に弱いDVD-R等も定期的にコピーし直すことが不可欠です。（粗悪品ですと5年ぐらいで記録面が歪んで再生できなくなる事もあります）

尚、HDD内のデータを誤って削除したりしても、専用のソフトにより復活させることができますが、バックアップを取って置くと簡単に復旧できます、一度お試しください。

新 園 長 紹 介

沢山の孫たち

利府おおぞら幼稚園 星 明夫



小学校12校に勤め、38年間の教職生活を終えて4月からは幼稚園での生活が始まりました。

幼稚園勤務は初めての経験で、早速の入園式では幼い幼児にどんなお話をしようか？内容が理解

できるだろうか？と心配でした。

数年前の文科省の体力向上キャンペーン標語に「風になろう、遊びはぼくらの友だち」というのがありました。園児には「たくさん遊ぼう」と話しました。「遊び」をとおして運動能力を伸ばし、優しい心、自己解決していく力を育てていこうと考えたからでした。数日後、職員室から園庭を見ていると一人の園児に「外に行こう」と手を引っ張られました。お誘いを喜びながら園庭に出て、「皆と何して遊ぼうかなあ」と聞いてみると「園長先生はただ優しく、皆が遊んでいるのを見守ってくれればいいんだよ」と言いながら、園児は砂場の方に走っていきましました。毎日が孫のような可愛らしい園児たちとの触れ合いの日々です。

幼な児と卒園生の笑顔

緑ヶ丘第二幼稚園 三塚 薫

5月、今年も青葉祭りが行われた。10年程前から希望する園児が参加している。転勤族の方が多いので、仙台の思い出づくりの一つともなっている。お囃子は教員だけでは心許ない…ので、当初卒園生とその保護者で結成し活動している緑水蓮という祭連（まづら）に毎年協力をお願いしている。卒園生は小学生、中学生、高校生となり普段は交流がないが、この時だけは元気な笑顔で応援に駆けつけて下さる。

先日、大学生となった卒園生が遊びに来園した。彼女は10年前に青葉祭りの参加のきっかけをくれた人で、ずっと祭連を作って踊っている。「全祭連共通の踊りを教えて欲しい。」という依頼に応え指導しに来てくれた。「幼稚園の先輩の…」と紹介したので、子ども達はすぐに「センパイ！」と呼び、彼女は大人気となり雀踊りを一緒に踊り楽しい笑顔溢れるひとときを過ごした。「幼稚園の子に教えるってむずかしい！よく先生ずっとやっているよね。誉めるのと忍耐の連続だねっ。」とは彼女の弁。

卒園生とその保護者の方々に今も支えられていることが、励みであり誇りでもある。

こども達の笑顔に支えられて

愛隣幼稚園 清野貞代



幼稚園とこども園の園長に就任し、3か月を経ようとしている。幼稚園や保育所について多少は知っていたものの、実際に中に身を置いてみて、自分が認識していたこととの隔たりに戸

惑いを覚えることが多くあった。園の先生方の手助けや協力で少しずつこの新しい世界に馴れつつあるものの、その道のりは遠い。こうしたヨチヨチ歩きの園長に、こども達は目をキラキラと輝かせ「園長センセーおはようございます」と声をかけ、全身でぶつかり、たどたどしい口調ながら一生懸命に話をしてくれる。もみじのような手のぬくもりは、新鮮な感動と元気を与えてくれる。その手のあたたかさから私は、このこども達の明るさとキラキラしたまなざし、自分を偽らず、飾らない素直さをいつまでも失うことなく、自立した心豊かな人間として成長していくことが出来るような手助けし、育てていくことが我々に与えられ、託された者の務めであると考えている今日このごろである。

ご指導よろしくお願いいたします

泉の杜幼稚園 菊池正隆



この度、父菊池政志の後任として、学校法人秀志学園泉の杜幼稚園の理事長園長を務めさせていただくことになりました、菊池正隆でございます。

本園は「あそび」を通して「強いからだ」と強いこころを持った子どもを育むことを教育理念とし、開園以来実施している「はだしの運動会」や、野外での郊外学習など、自然の中で子ども達が元気に身体を動かすことを大切にまいりました。これからも園児一人一人が、充実した楽しい幼稚園生活を送れるよう支援してまいります。

幼稚園を取巻く環境は、恒常的な少子高齢化に伴い園児数が減少する一方で、核家族化や女性の社会進出が進んだことにより大都市部を中心に、所謂「待機児童」の増加が社会問題となっております。また、今般の教育基本法の改正により、幼児教育の重要性がますます明確化され、私学振興の充実が不可欠となっております。このように難しい問題が山積しておりますが、精一杯努める所存でございます。なにとぞこれまでと相変わらませぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

幼 な 子 と と も に

幼稚園訪問記・やまと幼稚園



〒984-0042 仙台市若林区大和町三丁目15-28

園児数155名 5クラス

(年少30名、年中59名、年長66名)

今回は、仙台市若林区の大和小学校の近くにあります、やまと幼稚園にお伺いしました。

昭和50年に設立され、現在は、周辺の道路も拡幅整備が進み、新しい店舗やマンション等も多く立ち並ぶ中で、大和町、中倉方面からの子どもたちが多く通われているようです。

設置者の佐藤うめ先生の個人立園としての強い意志の基、伏見園長先生を始め、前園長佐藤桂先生の息子さんである佐藤桂一郎先生、職員の皆さんのご努力で現在も102条園として地域に根ざした幼稚園としてのお話を伺うことができました。



園長 伏見春美先生

やまと幼稚園では

- 保育時間
月～金曜日までは、9:00～14:00となります。土曜日は、9:00～11:30まで自由登園をしております。
- 預かり保育
月～金曜日まで、保育終了後17:45まで、また、長期休業中は、9:00～17:45まで行っております。
- 給食
月、水、金曜日は給食となり、火、木曜日は、お弁当になります。
- 未就園児教育
年22回実施しております。
- 特色教育
人形劇観賞（人形劇サークルのお母さん達により年3回公演）
お茶会（お茶の先生を招いて年3回開催）

＜102園として…＞

園児数も少なくなってきたり、学校法人に比べ補助金がすくなく経営が大変です。教職員への処遇だけは、どうにか確保しなければと頑張っておりますが、園舎も老朽化してきており、修繕費用が大変になっております。運営費補助の増額を願っております。

＜通ってくる子どもたちは…＞

大和町、中倉地域は、マンションが多いので、この地域に住んでいる子どもたちが多いです。



＜特に力の入れている教育等がありましたらお聞かせください＞

広い園庭で大木が多く緑が豊富なので自然を身近に感じながら、のびのびとした気持ちで遊ばせる方針です。当たり前のことですが、登園時に、朝の挨拶を誰にでも元気に言える様に声をかけ、朝のスタートを大切にしております。その他、ありがとう、さようならのことばを大切にしております。

そして、遊びの中で「入れて」「かして」「いいよ」等のことばが言える様に……。友だちを思いやる気持ち、積極性、我慢する気持ち等、遊びを通して育つものを大切に考えております。また、鉄棒、雲梯、縄跳びなど体力作りにも力を入れております。出来た時の喜び、自信が成長につながる様に努めております。

本園の保育目標は、思いやりの心、素直な心、頑張る心を掲げております。



✳ 登米市長へ要望書を手渡し ✳

7月2日、宮私幼登米地区幼稚園及びPTA関係者20名が登米市庁舎を訪問し市長に要望書を手渡しました。今年で4年連続となります。

懇談に移り、まず始めに、これまでの陳情の中で実現していただいたことや配慮していただいた下記のこと感謝を申し上げます。

- ◎平成19年度より、市内公共施設の使用料が全額減免されるようになりました。
- ◎登米市広報誌へ園児募集についてのお知らせを公立幼稚園と同じように「広報とめ11月号」に掲載していただくことができました。
- ◎原油高による灯油価格高騰によって、園児1人あたり1,000円の助成金を交付していただき、私達はもとより園児の家庭から大変喜ばれました。
- ◎私立幼稚園就園奨励費の交付時期がだいぶ早まりました。

また今回の要望として、登米市の幼児教育は、公立園15園と私立2園で担っていますが、保育料の格差は4倍以上となっています。そこで少子化社会を迎えた私立幼稚園の経営努力の現状を話し、且つ保護者の経済的負担を軽減することが子育て支援策につながることを訴えました。

市長からは、どんなことでもお話しくださいとの呼び掛けがあり、お母様方から“乳幼児医療問題”“病院問題”“学校給食のアレルギー対応の仕方”などの意見も出されました。お忙しい中、市長も約1時間に亘って熱心に耳を傾けて下さり、「要望の内容はよくわかりました。厳しい財政状況なので関係者と検討してご返事を申し上げます。」との回答をいただけてきました。



要望書の手渡し



お母様方との懇談会

地区別設置者・園長会議開催日程

- ◆地区 仙台
- ◆期日 8月8日(金) 14:00～
- ◆会場 仙台市：旭ヶ丘市民センター
- ◆地区 仙南
- ◆期日 8月18日(月) 14:00～
- ◆会場 柴田町：熊野幼稚園
- ◆地区 気仙沼・登米
- ◆期日 8月19日(火) 13:00～
- ◆会場 南三陸町：南三陸ホテル観洋
- ◆地区 名取・岩沼
- ◆期日 8月20日(水) 15:00～
- ◆会場 岩沼市：竹駒神社 参集殿
- ◆地区 塩釜・多賀城
- ◆期日 8月21日(木) 10:00～
- ◆会場 塩釜市：グランドパレス塩釜
- ◆地区 大崎
- ◆期日 8月22日(金) 14:00～
- ◆会場 大崎市：レストランスギヤマ
- ◆地区 石巻
- ◆期日 8月23日(土) 10:00～
- ◆会場 石巻市：石巻グランドホテル

訃報

新坂通幼稚園設置者・園長 星野艶子先生
におかれましては、5月22日にご逝去されました。

《御 礼》

岩手・宮城内陸地震の義援金を去る7月1日の振興大会会場にて募ったところ20,049円となりました。
皆様にはご協力ありがとうございました。

【表紙によせて】

や ま と 幼 稚 園

編集後記

宮私幼だより127号をお届けします。

今年は例年より早く梅雨明けが宣言されて、連日暑い日が続くと思われていますが、夏休み明けに登園してくる子どもたちを元気な笑顔で迎えることができるようにお体をご自愛ください。

さて、また悲惨な事件が発生し、何の関係もない人が犯人の勝手な理由で刺殺されました。まるでゲームや夢の中のように平気で他人の尊い命を奪っ

てしまう、いったいどうしたらそんな犯人を育てることができるのでしょうか？ 何でもかんでも悪いのは自分以外の社会や人…、それが殺人の理由になるのでしょうか？ 勝ち組、負け組とか言い格差社会を悪とし世間を煽り立てる人たちへ…、人類が誕生してから格差が無い社会が存在しなかった事をよく知っているはずなのに…、まだ言い続けるのでしょうか？ (菱)